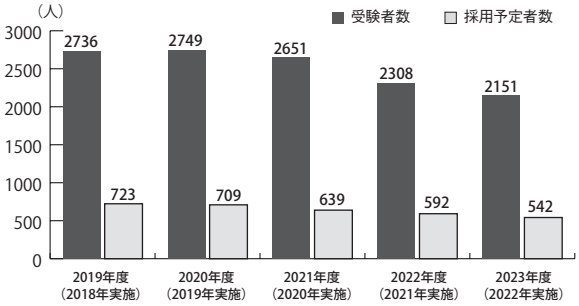
File No. 03

静岡県

面　積	7,777㎢
人　口	3,557,113人
県の花	つつじ
県の木	もくせい
県の鳥	さんこうちょう

求める教員像	「有徳の人」を育むために，生涯を通じて学び続け，子供たちの伴走者として，夢の実現へと導く教員 「教育的素養・総合的人間力」を基盤とし，キャリアステージに応じて，実践・省察・改善を繰り返しながら，「授業力」「生徒指導力」「教育業務遂行力」「組織運営力」を身に付けている教員を求めています。 教育的素養・総合的人間力 〇教職人生を通して，教育者としての使命感，倫理観・人権意識，社会性，教育に対する誇りを持ち，新しい知識・技能を学び続け，子供への共感・理解や教育的愛情の涵養，信頼関係の構築を図っている。 〇教職人生を通して，真摯に学び続ける姿勢と自律心，変化を恐れない積極性とリーダーシップを持ち，広い視野と社会環境への理解を基に地域社会と関わり，豊かな人間性の向上を図っている。 〇「才徳兼備」の人づくりを担う一人として，常に児童生徒の模範となるよう行動している。
出願期間	公開日　3月31日（金）　　電子申請　4月3日（月）8:00～5月5日（金）17:00
試験日程	1次試験　試験日　7月1日（土）・2日（日）　　合格発表日　7月31日（月） 2次試験　試験日　［特］以外：8月16日（水）～18日（金）　［特］：8月17日（木）・18日（金） 合格発表日　9月29日（金）
年齢制限	昭和38年4月2日以降に生まれた者
募集教科	**［小］［中］**国語，社会，数学，理科，音楽，美術，保健体育，技術，家庭，英語 **［小中］**［中］と同じ教科 **［高］**国語，地理歴史（地理，歴史），公民，数学，理科（物理，化学，生物），保健体育，外国語（英語），家庭，農業，工業（機械，電気電子通信，建築），商業，福祉，情報，水産（機関，総合）**［特］**(小(幼を含む)) (中(高を含む))［中］と同じ教科 (自立活動) **［小特（小）］［養］［栄］**
特記事項	**1. 特定の資格や経歴等を持つ者（教育職員普通免許状を必要とする）　(1)教職経験者**　㋐-1 県内外の国公立で教諭等として実務経験を持ち，受験する校種が採用試験で合格した校種と同じで，令和5年3月31日まで連続3年以上の実務経験者。㋐-2 県内外の国公立で教諭等として実務経験を持ち，受験する校種が採用試験で合格した校種と異なるが，令和5年3月31日まで連続3年以上の実務経験者。㋑県内の国公立で臨時的任用職員等として令和4年度に勤務実績があり，直近の過去5年度で通算36か月以上勤務した者。㋒県内外の国公立で教諭等として令和5年3月31日までに2年以上の実務経験者。㋓県内の国公立で臨時的任用職員等として令和4年度に勤務実績があり，直近の過去3年度で通算24か月以上勤務した者。 **(2)障害者　(3)国際貢献活動経験者**　青年海外協力隊等で継続した2年間の任期を満了した者。 **2. 特定の資格や経歴等を持つ者（教育職員普通免許状は不要。合格後，特別免許状取得必要）　(1)高等学校スペシャリスト**　㋐英語のネイティブスピーカー（［高］志願者で，日本の高校での勤務経験者）。㋑博士号の取得者（［高］理科（物理，化学，生物）志願者）。㋒民間企業等での勤務経験者（［高］工業志願者で規定の要件を満たす者）。㋓医療機関等での勤務経験者（［高］福祉志願者で規定の要件を満たす者）。㋔商船等での勤務経験者（［高］水産（機関）志願者で規定の要件を満たす者）。 **(2)看護師経験者**　［特］志願者で看護師の資格を持ち，重症心身障害児の臨床経験が3年以上ある者。 **(3)民間企業等勤務経験者**　［中］美術，技術，家庭志願者で，特別免許状に係る本県の教育職員検定基準を満たし，3年以上の当該技能に係る業務従事者。※1.(1)㋐-1対象者は，1次の筆記を免除。1.(1)㋐-2・㋑対象者は，1次の教職・一般を免除。1.(1)㋒・㋓，(2)，(3)および2.(1)㋑・㋒・㋓・㋔，(3)対象者は，1次の教職・一般に代えて課題作文を実施。2.(1)㋐対象者は，1次は書類選考，課題作文，個人面接，2次は個人面接，集団討論，模擬授業を実施。2.(2)対象者は，1次の専門に代えて課題作文を実施。**■免除**　令和5年度2次試験の補欠者が同一の教員種別，教科等を受験する場合，1次を免除。

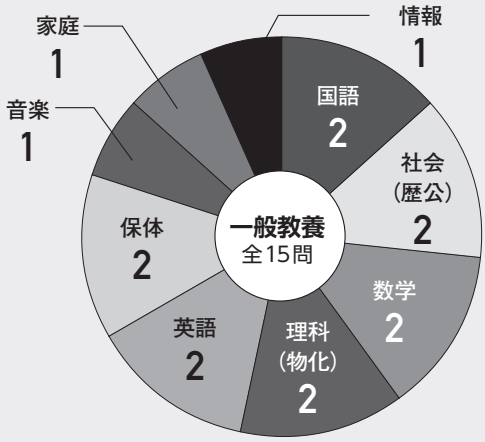
▼受験者数等推移

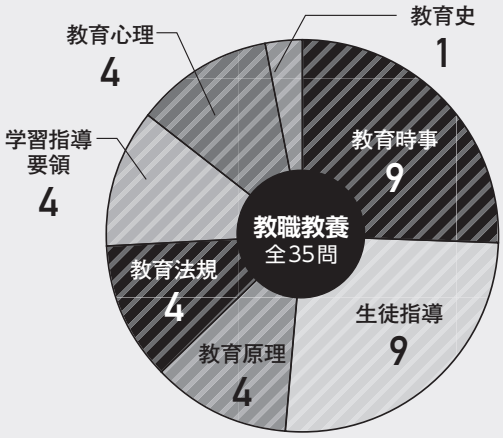


▼令和３年度　問題行動調査でのいじめの認知件数と不登校児童・生徒数

	小学校	中学校	高等学校
いじめ（件）	15,057	4,972	75
不登校（人）	2,660	5,561	1,542

2024年度（2023年実施）筆記試験DATA





▶ 学習指導要領は総則に注意
▶ 必出の特別支援教育は幅広い領域から
▶ 一般教養の人文科学は英語（文章読解，会話文）が頻出

〈教職教養〉では例年，択一式で幅広い分野から出題されており，今年度も同様の傾向であった。

学習指導要領では総則が必出である。今年度は，「児童（生徒）の発達の支援」から学級（ホームルーム）経営や生徒指導に関する問題が出題された。

教育原理（特別支援教育等）のうち，特別支援教育では「障害のある子供の教育支援の手引」（2021年）の基本的な理解を問う問題がみられた。

生徒指導では，「生徒指導提要」（2022年）から以下の問題が出題された。まず，「第1章 生徒指導の基礎」から生徒指導の定義と目的，重層的支援構造に関する問題である。次に，「第3章 チーム学校による生徒指導体制」からチーム学校を実現するための視点についての問題である。そして，「第4章 いじめ」から発達支持的生徒指導のあり方の理解を問う問題である。

教育時事では，3年連続で「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して（答申）」（2021年）からICTを活用した学びに関する問題がみられた。また，「第3次学校安全の推進に関する計画」（2022年）から実践的な防災教育の充実に関する問題も出題されている。

教育法規では頻出の教育基本法から前文が，地方公務員法から第35条（職務に専念する義務）が，それぞれ出題された。また，いじめ防止対策推進法第8条等も出題されている。

教育心理では，学習理論（パブロフ，バンデューラ）の理解を問う問題や，人格検査（ロールシャッハ・テスト等）に関する問題がみられた。

教育史では日本教育史からシーボルトの開いた私塾を問う問題が出題された。

〈一般教養〉のうち，**人文科学**では国語全般，英語（会話文，文章読解）が頻出であるほか，音楽，保健体育，技術・家庭科からも幅広く出題されており，今年度も同様であった。**社会科学**では例年，幅広い分野から出題されている。今年度は，日本史（鎌倉時代），経済（経済の仕組み）から出題された。**自然科学**では例年通り，数学，理科全般（物理，化学），情報から出題された。